

毎月22日は「人権を確かめ合う日」です

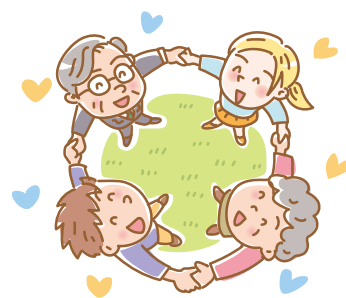
人権のひろば

☎ 人権センター (TEL) 354-8609 (FAX) 354-8611

「地域での人権学習について一緒に考えてみませんか？」

本市では、人権に関わるさまざまな教育・啓発を行っていますが、皆さんがお住まいの地区にも、こうした活動をしている市民団体があることをご存じですか。

「〇〇地区人権教育推進協議会」や「人権まちづくり推進協議会」、社会福祉協議会の「人権部会」など、名称は地区によってさまざまですが、市内各地区で活動しています。各団体が主体となって、身近な人権問題について話し合う地区懇談会や、人権をテーマにした講演会や映画上映会などの研修会を開催し、地域住民の人権意識の向上や地域の課題



に合わせた差別のないまちの実現を目指しています。こうした団体の活動は、本市が「人権尊重都市宣言」で目指す、「人が人として尊ばれる明るく住みよい社会」を築くための大きな支えとなっています。

誰もが安心して暮らせる地域社会をつくるためには、一人ひとりが人権に関心を持ち、人権問題を「自分にも関係があること」として捉えることが大切です。

まずはお住まいの地区で開催される研修会やイベントに参加して、人権について一緒に考えてみませんか。



近隣市町とともに

三重県への要望活動を実施

北勢地域の5市5町（四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町）で構成する北勢未来会議として、三重県庁を訪問し、三重県への要望活動を行いました。

本市を中心とした北勢地域全体は、ものづくりが盛んで、非常にレベルの高いものづくりが行われています。三重県の製造品出荷額のおよそ4分の3を北勢地域が占めており、なかでも本市はそのうちの4割程度を占める産業都市です。

北勢未来会議は、こうした北勢地域の高い



ポテンシャルを生かし、今後も北勢地域一丸となって持続的な発展を遂げていけるよう、北勢地域の既存の都市基盤を有効に活用し、国家的ビッグプロジェクトや民間活力導入の促進を積極的に図ることを目的としています。

本年度は、「人口減少に負けないまちづくりの推進について」、「JR四日市駅前への大学設置に向けた参画・支援について」など6点を要望し、北勢地域が東海エリアにおける重要なエリアとして今後も成長し続けられるよう、しっかりと支援をお願いしました。